

ICT活用授業例

～音楽～

大阪府立東淀川支援学校
中学部 小野威夫

音楽の授業でのiPad活用

単元

「iPadでBGMを作ろう」

ねらい

「iPadのLoopの使い方を覚えよう。録音のやり方を覚えよう。

他のグループの演奏した音を使って曲を作ろう。」（余暇活動につながれば・・・）

という、最初はお粗末なねらいでした。。。

音楽の授業でのiPad活用

もう少し、iPadを活用することの教育的効果を考えてみました。

ねらえる教育的効果として

- ・リズム感の育成
- ・構成力の育成
- ・想像力の育成

などがあると思いました。

音楽の授業でのiPad活用

実は、最初はあまり深く考えずにやってしまっていました。反省です。

今回は、「リズム感の育成と構成力」に焦点を当ててみました。

改めて、ねらいとして

「Loopや自分の音を録音することを通して、リズム感を育成を図る。音の組み合わせを考えて音楽の構成力を高める。」

リズム感について

この単元の前に、ハンドベルで曲を演奏する活動をしたのですが、うまく人とタイミングを合わせて演奏することが難しい生徒がいました。

楽譜を見ながら、楽器を操作する活動なので、リズム感だけに特化した評価をしていませんでした。

ということで、遅ればせながらリズム感について生徒の評価を試してみました。

リズム感について



リズム感について

「タンウンタンウン」などのリズムは大丈夫ですが、

「タンタタタンタタ」など「タタ」のリズムが入ると、分からなくなる生徒、タイミングが早くなってしまう生徒がいます。

4拍目があると、自分が次に入る時にタイミングを掴みづらい生徒もいます。

これがベースラインとします。今後この活動が続けていくことで、リズム感を養うことができるのか、検証したいと思います。

構成力について

「Loop」というのは、短いリズムや旋律を繰り返しているものです。

これを組み合わせて、1分程度のBGMを作っていくには、構成力が必要になります。

これは、毎回作った曲を保存していくことによって、高められたか検証したいと思います。

BGM作成について

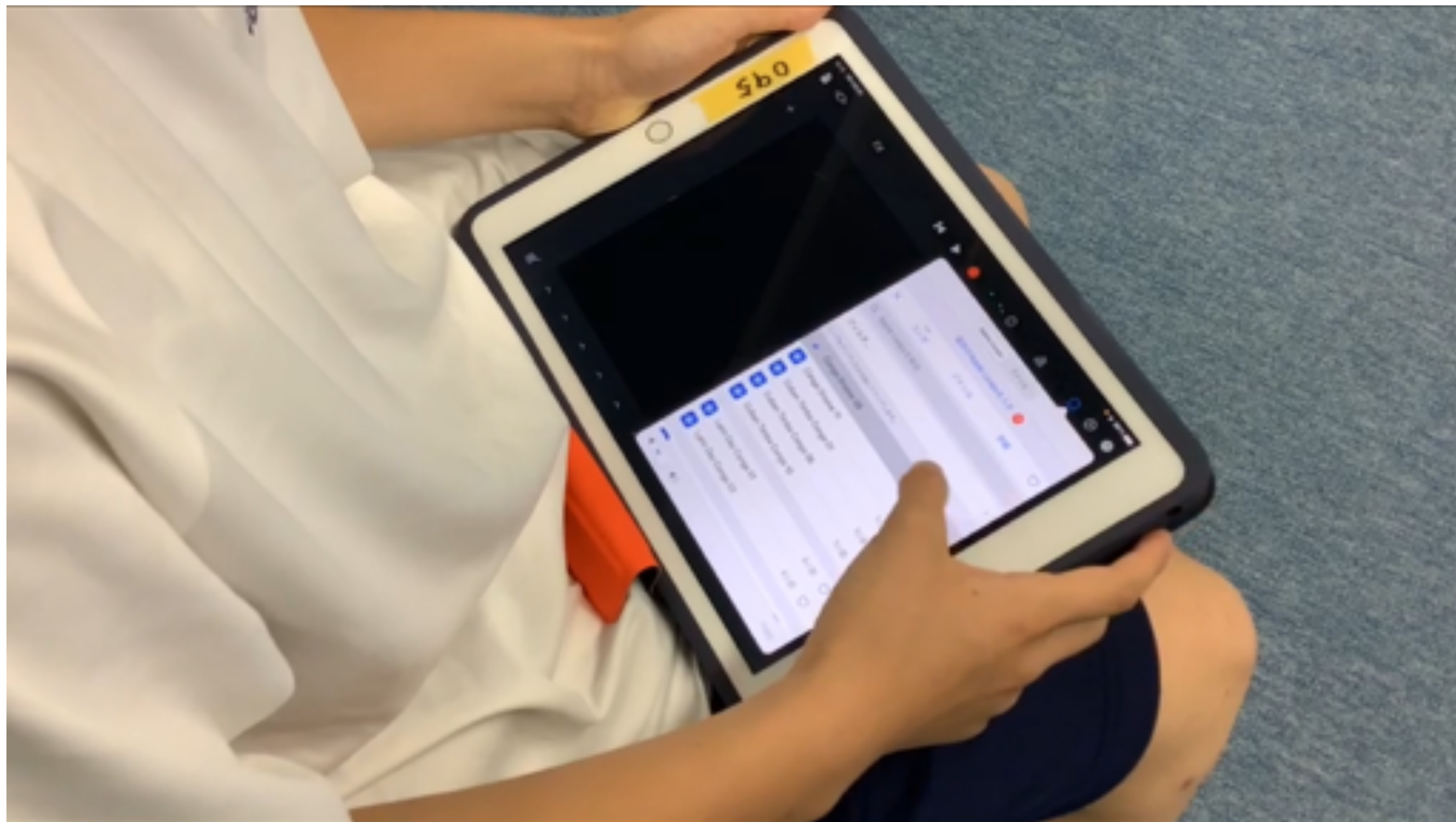
使用したアプリは、「GarageBand」

この單元では、「Loop」を使用しました。

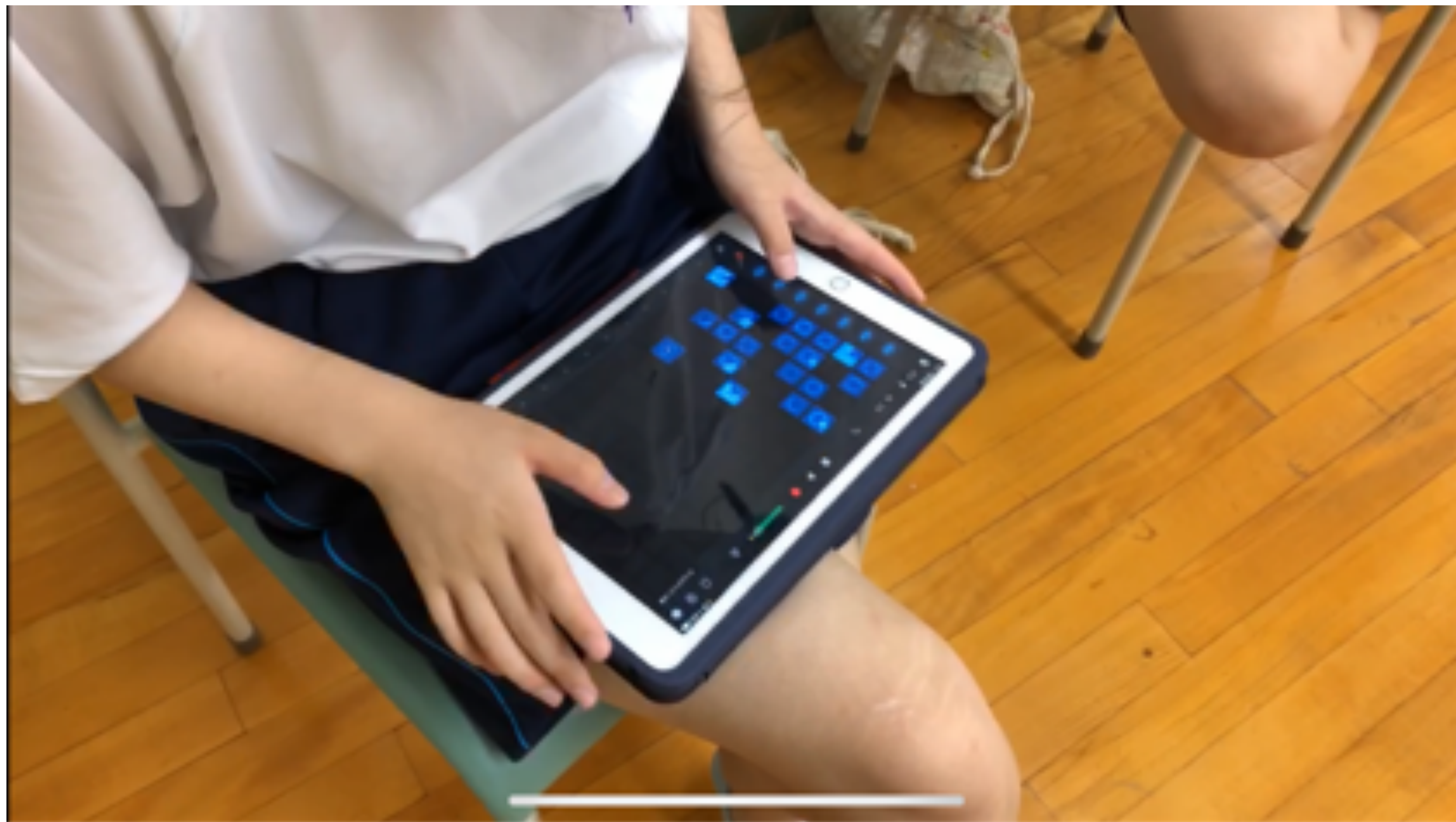
生徒には、Loopとはなにか、新しいLoopを作成する方法、録音する方法、

曲名の変更方法、AirDropの方法を教えました。

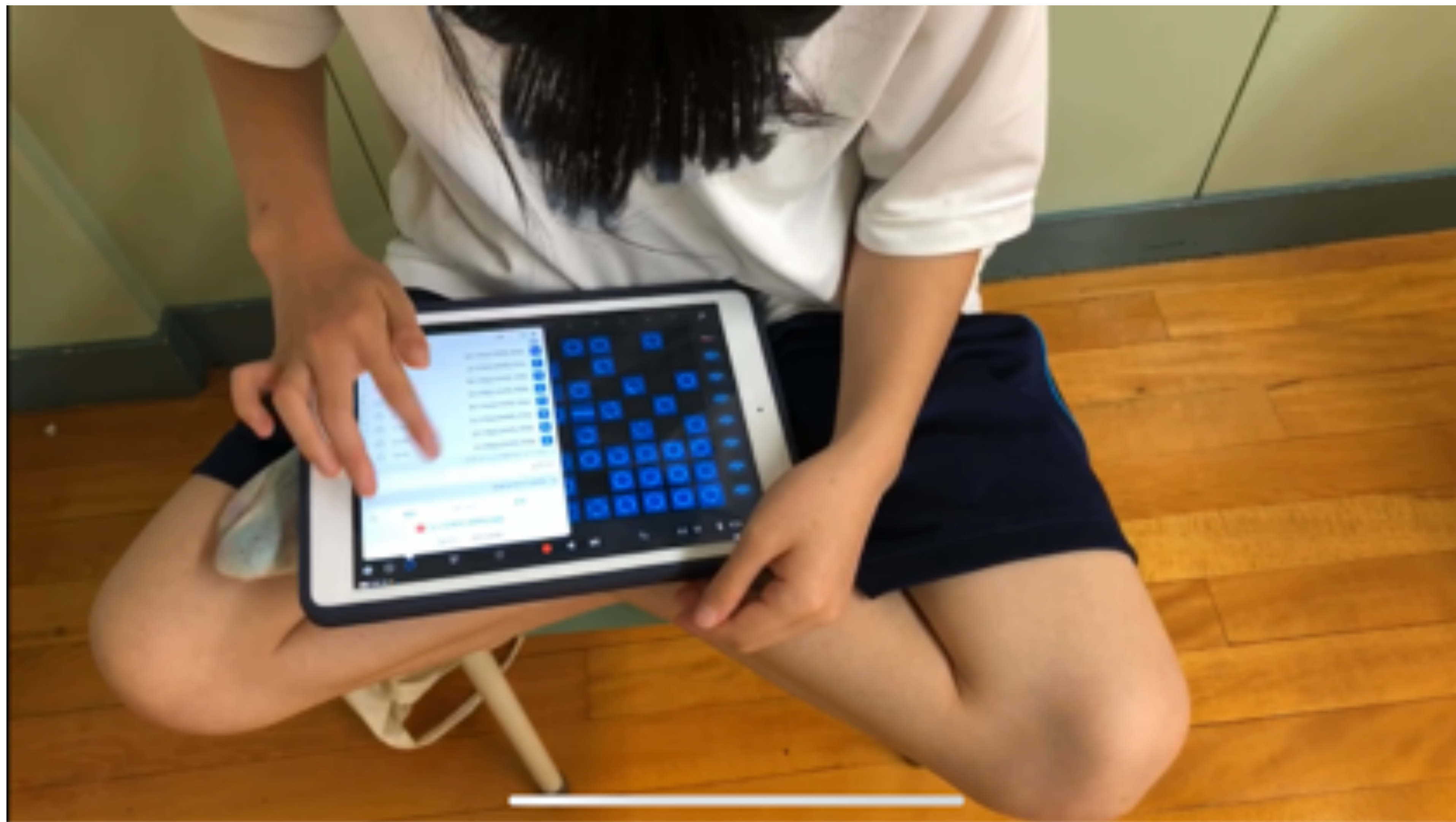
では、写真をご覧ください。



では、写真をご覧ください。



では、写真をご覧ください。



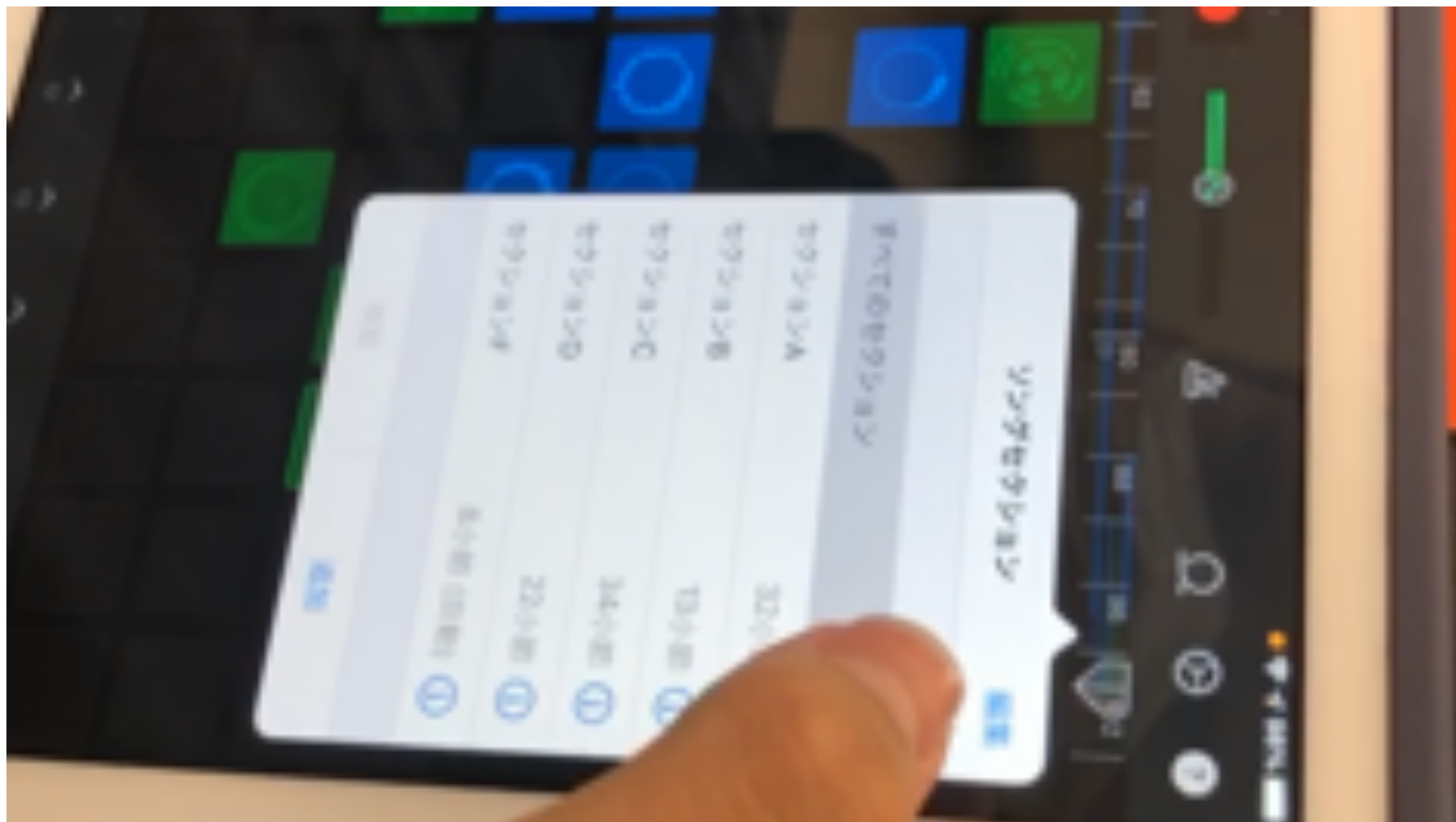
では、写真をご覧ください。



では、写真をご覧ください。



では、写真をご覧ください。



今後の活動について

生徒たちはだいぶ使い方を覚えてきました。

このグループだけの活動で終わらせたくはないので、他のグループの演奏を録音して、曲を作ったり、東淀川まつりの劇中音楽を作成したりと、活動を広げていければと考えています。

今後の活動について

リズム感の育成のために、リズムを自分で作成したり、ドラム音源を使って演奏したりしていきたいと思っています。

旋律を作る活動としては、ピアノやギターなどの音源を使っていきたいとも思っています。

今後の活動について

できた曲を活用していくためのアイデアなどを、皆さんとともに考えていけたらと考えています。

今回の授業について

正直なところ、ねらいをはっきりさせずに、活動ありきでやってしまったところがあり、この点については大いに反省しなければならないと思っています。

ですが、音楽の授業における創作活動は非常にハードルが高いですが、iPadを活用することで、そのハードルを下げることはできたことは、良かったのかなと思っています。

今回の授業について

今回の授業だけでなく、今後の活動に関してもたくさんの助言をいただければと思っています。

よろしくお願いします。